

平成 25 年度事業報告 詳細

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人日印教育支援センター

1 事業の成果

インドへの教育支援を行うとともに、その広報活動、講演活動、募金活動、教育交流活動、およびそれらに付随する活動を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所	報告内容
①各種イベント、講演会の企画・運営に関する活動 ⇒日印教育支援センターの活動に関する講演会を行い、国際協力・海外支援へ関心を持つ機会を提供するとともにインド学校支援を呼びかけた。	「地球愛まつり」イベント参加	(A) 24年5月5日 (B) 京都ひとまち交流館	写真パネル、活動紹介のDVD、インドの教科書の展示、子どもたちの絵の販売、資料の配布等を行った。いろいろな方とコミュニケーションがとれまた寄付もいただいた。
	現代教育研究会 講演	(A) 24年6月30日 (B) 京都市 佛教大学	近畿の教育関係者15人を対象に国際協力についての講演を行った。 講演内容 ・インドの教育から学ぶこと ・日印の教育交流 ・インドの教育の現状と展望
	新羅に集う人々の会 講演	(A) 24年7月22日 (B) 京都きよみず花京か	行政・教育・企業関係者22人を対象に国際協力についての講演を行った。
	2012パワーアップスクールあすのび教室 講演	(A) 24年7月27日 (B) 京都市 おふいすパワーアップ	小学1年生から6年生の子どもたち20人とその保護者を対象にインドの文化に関する講演を行った。
	宇治市倫理法人会 講演 モーニングセミナー	(A) 24年7月28日 (B) 宇治市青少年文化研修道場	宇治市・京都市の企業経営者52人を対象にライフワークとしてのボランティア活動について講演を行った。 講演内容 ・ボランティア活動の歩みと学んだこと ・日印教育支援センターの

	日本商業教育学会滋賀県支部第5回研究会 講演	(A) 24年11月10日 (B) 滋賀県立大津商業高等学校	立上げとめざすもの ・ 展望と今後の日印関係 ・ 企業との協働（CSR） 講演内容 ・ 日本の教育環境の問題点 ・ インド支援学校から教育の原点を学ぶ ・ 日本の教育への還元
	子育て講座 ママ塾～教育編 講演	(A) 24年11月16日 (B) 京都市 おふいす パワーアップ	講演内容 ・ インドの子どもたちの教育から学ぶ日本の子育て
	立命館学校教育研究会総会・分科会	(A) 24年12月2日 (B) 立命館大学	教員希望の学生と教育関係者達で教育の諸課題について研究討議した。
②文化交流の企画・実施に関する活動	チャリティコンサートや子どもたちの絵・写真の展覧会などを行う。	本事業年度は実施しなかった。	
③インドの学校訪問スタディツアーの企画・実施に関する活動	スタディツアー説明会	(A) 24年10月20日 (B) キャンパスプラザ 京都	スタディツアーを実施する旅行会社マイチケット主催の説明会にブース出店参加した。スタディツアー参加者拡大に努めた。
⇒支援学校を訪問し、実際にインドの子どもたちと交流してもらうことで、支援の成果を実感するとともに、インドの教育から学ぶ機会となった。	第3回スタディツアー実施	(A) 24年12月22日～29日 (B) インド	理事長と会員5名でインド支援学校視察と子どもたちと交流するスタディツアーを行った。兵庫県小野市から寄贈されたそろばんをインドの学校に届け、生徒一人一人に配布した。初歩的なそろばん指導を行った。また支援物資を支援学校に届けた。
	第4回スタディツアー実施	(A) 25年3月27日～4月6日 (B) インド	理事長と会員7名でインド支援学校視察と子どもたちと交流するスタディツアーを行った。インドに関心を持ってもらい多くの方に参加いただけるよう2つのコースを設定した。前回に引き続きそろばん指導を行った。また支援物資を支援学校に届けた。

④学生の海外ボランティア活動の企画・実施に関する活動	国際学を学ぶ大学生が現地でのボランティア活動を実体験する場を提供する。	本事業年度は実施しなかった。	インド支援学校でのボランティアは通年受け入れ可能であるが、参加希望者がなかったため本事業年度は実施しなかった。広報活動を工夫していきたい。
⑤修学旅行の企画・立案、ホームステイの提供に関する活動	国際的視野を広げる目的の修学旅行の企画・立案、ホームステイの提供を行う。	本事業年度は実施しなかった。	修学旅行の実施など、学校単位で国際支援に積極的に取り組んでもらえれば、多くの人々に活動が広まり、支援活動の拡大と安定に繋がるが、希望がなかったため本事業年度は実施しなかった。広報活動を工夫していきたい。
⑥インドの学校支援と日本とインドの教育の交流に関する活動	インド無料教育校への寄付(パソコン、文具、子ども服等、物資の寄付も含む)	(A) 随時 (B) インド無料教育校	インド支援学校の運営費への寄付を行った。募金活動にはかなりの苦勞を伴った。支援学校運営は危機的状況であるため、支援者拡大のため工夫していきたい。
⇒インド教育支援並びに日本とインドの教育交流を図った。新たにインドにおけるそろばん推進活動を開始した。	兵庫県小野市からのそろばん寄贈	(A) 24年12月19日 (B) 兵庫県小野市	リユースとして集めたそろばんを途上国へ提供している兵庫県小野市からインドでのそろばん普及活動のため700丁のそろばんの寄贈を受けた。
	インドでのそろばん指導	(A) 24年12月・25年3月 (B) インド無料教育校	インド支援学校でそろばんの指導を行った。12月には初歩的な指導を行い、3月に継続した指導を行った。大型のそろばんを運びわかりやすい指導に努めた。
	インドにおけるそろばん推進活動についての報告会	(A) 24年12月19日 (B) 兵庫県小野市	インドで行ったそろばん指導について兵庫県小野市で市関係者・そろばん関係者に報告を行った。

(2) その他の事業

事業名	事業内容	報告内容
①インドの子どもたちの手作り品の販売	インドの子どもたちの職業訓練を兼ねた手芸品の制作、作品の販売を行う。	本事業年度は実施しなかった。
②インターネットを利用した通信販売に関する活動	不要書籍等を回収し、通信販売を行う。	不要書籍等の回収は行えたが、販売までは行えなかった。今年度は販売活動に力を注ぎたい。

(3) 事務局

事業名	事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	報告内容
① 広報活動	会報発行	(A) 随時 (B) 事務局	白い象の学校通信NO.4を発行した。インド支援学校の様子やNPOの活動が伝わるよう紙面を工夫していきたい。他にも不要書籍回収チラシ、スタディツアーチラシ等を発行し、広報活動に努めた。
	ホームページ開設	(A) 随時 (B) 事務局	ホームページを開設し、随時更新している。インド支援学校の様子を伝えるページを作成し、学校を身近に感じてもらえるよう工夫した。ボランティア募集や協力企業募集の案内を掲載しているが、問い合わせに結びついていないため募集方法を改善すると共にホームページの内容充実に努めたい。
② 資金調達取り組み	会員の拡大と活動の活性化	(A) 随時 (B) 事務局	本年度の会員数は88名。会員が能動的に動いてもらえるよう工夫していきたい。独自に広報活動等を展開してくださると申し出た会員には名刺・チラシを送付した。会員が取り組みやすい活動の展開方法を検討していきたい。会員同士が繋がる機会とし活動を活性化するため24年11月27日に東京で会員の集いを開催した。
	寄付案内・活動資料の送付	(A) 随時 (B) 事務局	学校を訪れたことのない支援者にも身近に感じてもらうため、インド支援学校の様子を収めたDVDを作成し送付し寄付を呼び掛けた。活動への理解を深めてもらうため理事長講演文を送付し寄付を呼び掛けた。
	他団体との協力関係を推進	(A) 随時 (B) 事務局	各催し毎に交流が進んでおり、今後は関係を深め協力できるよう持っていきたい。
③ 認定NPO法人化	認定NPO申請への取り組み	(A) 随時 (B) 事務局	認可を取るための要件をクリアする必要がある。